



福祉をかえる 「アート化」 セミナー 2013

参加費
無料！

今、障がいのある人の生活を豊かにしたり、仕事をおこしていくうえで、アートやデザインの活動に期待が寄せられています。しかし、福祉の現場にアートをとりいれていきたいと考えていても、アート活動の価値をどう共有し位置づけていくことができるのか、さらにはどのようにマネジメントしていったらいいのか、分からないのが現状ではないでしょうか。

そこで、今回のセミナーでは、先進的な活動を行う講師のみなさんとともに、なぜアート活動に取り組むのかを考えるとともに、実践にいかしていくための具体的な方法や福祉以外の分野との協働について考えます。

アートやデザインの活動をとおして、福祉をよりクリエイティブなものに変えていく実践についてみなさんとともに考えたいと思います。みなさんのご参加をお待ちしています。



2013.11.1[金]・2[土] 万代市民会館6階 多目的ホール

- 対象：関心のある人（社会福祉施設職員、学生、アーティスト、教員、自治体職員など）
- 定員：100人 ※要事前申し込み、申し込み先着順／2日間を通し参加ができる方。 ※手話通訳あります。
- 参加費：無料 ■主催：新潟市 ■企画：財団法人たんぽぽの家

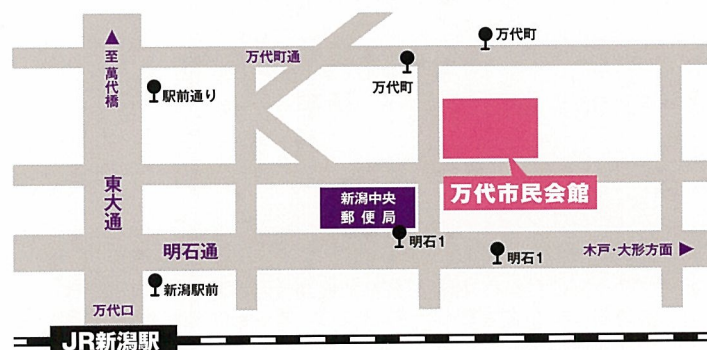
お申し込み方法

次の事項を記載のうえ、10月21日[月]までに新潟市福祉部障がい福祉課に電話またはE-mail、FAXでお申込みください。（9月25日[水]から受付を開始いたします。）

- ① セミナー参加希望の旨 ② 住所 ③ 氏名 ④ 連絡先電話番号 ⑤ 所属団体（施設・学校など） ⑥ 交流会の出欠

お申込み先・お問い合わせ先[新潟市福祉部障がい福祉課]

TEL.025-226-1237 FAX.025-223-1500 E-mail: shogai.wl@city.niigata.lg.jp



会場

万代市民会館
〒950-0082 新潟市中央区東万代町9番1号

バス

- 西新潟方面からは「駅前通」下車
 - 沼垂・山の下方面からは「万代町」下車
 - 木戸・石山方面からは「明石1丁目」下車
- ※いずれもバス停から徒歩2分

徒歩

- JR新潟駅万代口から約7分
- ※駐車場はありませんので、周辺の有料駐車場をお使いください。

参加費
無料！

福祉をかえる「アート化」セミナー2013

1日[金] 13:30~17:30

13:00 ~ 13:30 受付

13:30 ~ 13:50

主催者あいさつ、オリエンテーション

13:50~14:30(40分)

講演①

「はたらくこと、あそぶこと、いきること」

「どんなときもユーモアをもって楽しむこと」「誰もが当たり前のひととして出会い、関わり合い、支え合うこと」をめざして2006年にオープンしたスウィング。生活介護事業、就労継続支援B型事業所をベースとしながら、芸術創作活動「オレたちひょうげん族」や清掃活動「ゴミコロリ」など、「障がい者福祉」の枠にとらわれないNPOとしてのスウィングの活動から、障がいのあるなしを超えて豊かに生きることを考えます。

木ノ戸 昌幸 (NPO法人スウィング施設長／京都)

14:30~15:10(40分)

講演②

「コミュニティのなかでアートスペースをひらく」

個性や自己決定、自由を尊重できる社会や関係を障がいのある人とともにつくっていくことをめざして2013年に設立したリベルテ。障がいのある人のアートスペースが地域のなかでどのような役割を果たすことができるかを提案します。

武捨 和貴 (特定非営利活動法人リベルテ代表理事／長野)

15:10~15:20(10分) 休憩

15:20~16:00(40分)

講演③

「新潟におけるアート・デザインの実践」

新潟では、今、障がいのある人のアート活動や仕事づくりでは、どのような活動が生まれているのでしょうか。「福祉施設でつくられている製品をもっと広く伝えたい」という思いからはじまったkoroの活動。福祉施設に関わるなかでみてきた、アートやデザインの可能性と新潟での今後の発展のための協働について考えます。

小林 あかね、中嶋 梨沙 (koro／新潟)

16:00~16:30(30分)

質疑応答、ディスカッション

16:30~17:30(60分) 交流会

講師、参加者のみなさんとの情報交換と交流の機会にぜひご参加ください！

参加費(500円)は当日申し受けます。(お茶・お菓子つき)

2日[土] 10:00~16:00

10:00~10:20(20分)

前日の講演、ディスカッションを振り返り、2日目のプログラムを紹介します。

表現を支える環境をつくる

10:20~11:00(40分)

「アートが生まれる環境づくり」

南 芳枝 (社会福祉法人かれんアートかれん施設長／神奈川)

魅力的なアートスペース、環境づくりには、何が必要でしょうか。表現を支える画材や道具の工夫、支援のあり方、障がいのある人の個性や表現を大切にする環境をどうつくっていくかを考えます。

11:00~11:40(40分)

「福祉施設のアート化を支える仕組み」

緒方 克也 (社会福祉法人JOY明日への息吹理事長)

障がい者施設でアートに取り組むためにはどのような仕組みが必要でしょうか。マンパワー、職員の意識の変革、福祉事業としての位置づけ、外部との連携……。仕事として、楽しみや学びのプログラムとして、さらには地域との関係づくりとしてのアート活動を支える仕組みについて考えます。

11:40~12:00(20分) 質疑応答

12:00~13:20(80分) 休憩

社会へつなぐ方法をつくる

13:20~14:00(40分)

「多様な表現を社会につなげる視点」

中津川 浩章 (美術家、工房集アートディレクター／埼玉)

福祉施設では日々多様で、個性的な表現が生まれています。その表現にどのように気づき、どう社会にむけて発信していったらいいのでしょうか。障がい者福祉施設職員らが企画運営を行った埼玉県障害者アートフェスティバル企画展の指導を行った中津川さんともに、表現を社会に伝える意味と方法を考えます。

14:00~14:40(40分)

「アート×デザインによるソーシャルビジネスの提案」

播磨 靖夫 (財団法人たんぼぼの家理事長／奈良)

障がいのある人のアートを使用したものづくりが着目されています。障がいのある人の所得をあげていくためには、「福祉を超える」「授産品をこえる」ための意識や異なる分野の人たちとの協働が書かせません。今、各地で生まれつつあるものづくりの事例から、ソーシャルビジネスの可能性を考えます。

14:40~15:00(20分) 質疑応答

15:00~15:10(10分) 休憩

15:10~16:00(50分)

全体ディスカッション

「創造的な福祉をつくる！」

グループにわかれ、最初に各参加者が今回のセミナーから何を学び感じたかを共有します。そして、アートやデザインの可能性、創造的な福祉について全員でディスカッションします。